

# Rapport

2019  
Number  
106

多摩大学 | 広報誌 |



## Vol.106 Contents

経営情報学部 2018年度 褒賞者 .....	02
多摩大学 体育会報告 .....	03
2019年度 入学式／教員紹介(グローバルスタディーズ学部) .....	04
教員紹介(経営情報学部) .....	05
2018年度 就職状況 .....	06
グローバルスタディーズ学部 第11回後援会定期総会 .....	06
平成30年度 学校法人田村学園概要 .....	07
ジェロントロジー企画 .....	07
2019多摩大スポーツフェスティバル .....	08

# 経営情報学部 2018 年度 褒賞者

## 【2018 年度 秋学期 優秀学生賞】

- ① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生      ② 教育補助 (SA) として著しい功績があった者  
 ③ 成績向上が顕著な者 (GAP の向上等を基準)              ④ 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者

◎印は、選出理由

科目名	◎	学生氏名
IT 概論 II	1	藤盛 佑哉
IT 活用法 I	1	白井 ほのか
IT コミュニケーション入門	1	菅原 佑士
IT コミュニケーション入門	1	深山 右京
IT ビジネス入門	1	味蓼 恵月
アジア経済論 II	1	関 謙二郎
アメリカ経済論	1	北河 祐二
English Expression II	1	清水 貴大
English Expression II	1	味蓼 恵月
English Expression II	1	宮崎 友花
Web サービス開発	1	山口 知徳
Web デザイン II	1	藤盛 佑哉
NPO・NGO 論	1	村松 繁
韓国語 II	1	飯沼 敏樹
韓国語 II	1	和田 麻白
韓国経済論	1	藤山 拓海
韓国ビジネスコミュニケーション II	1	霜田 愛瑠
キャリア・デザイン入門	1	石本 明子
キャリア・デザイン入門	1	船井 玲伽
教育相談	1	伊藤 彪我
業界研究 II	1	伊藤 究
金融論	1	上岡 萌絵
クリエイティブデザイン II	1	竹内 亮人
グローバルビジネス入門	1	村田 月夜
グローバルヒストリー II	1	小林 大介
グローバルヒストリー II	1	庄司 剛
グローバルマーケティング	4	中島 大地
経営科学 II	1	和泉 遼
経営シミュレーションゲーム	1	鎌田 聖也
経営情報論 II	1	富田 将樹
経営組織 II	1	渡部 稜
経済統計学	1	宮浜 洸介
経営とセキュリティ	1	野口 寛司
現代メディア論 II	1	渡辺 満理奈
国際経営入門 II	1	アイラティエ ゴル
財務会計	1	小田島 功弥
産業界特講 (スポーツで学ぶデータアナリティクス入門)	1	秋山 萌佳
産業界特講 (メディア新時代の情報表現 II)	1	井 汐里
産業界特講 (メディア新時代の情報表現 II)	1	関 謙二郎
事業デザイン論 II	1	菊池 裕輝也
社会心理	1	正岡 来桂
初級簿記	1	モウ シライ
消費心理	1	馬場 明仁
スタディースキル入門	1	イ ジョン
スポーツ I	1	西岡 大翔
スポーツ I	4	バク ガセイ
スポーツ I	4	モウ シライ

科目名	◎	学生氏名
スポーツ I 体づくり	1	茂山 友也
スポーツ II	1	松山 尚輝
スポーツ II 世代間交流トレーニング	1	杉浦 央也
多国籍企業 II	1	玉木 真悟
多摩学 II	2	相田 雅貴
多摩学 II	4	大野 将来
多摩学 II	2	帷子 佑紀
多摩学 II	2	川村 千夏
多摩学 II	2	木下 尚晶
多摩学 II	1	小林 拓視
多摩学 II	4	佐保 尚寿
多摩学 II	1	庄司 剛
多摩学 II	4	村田 月夜
地域産業論 II	4	梅沢 万結
地域産業論 II	4	中村 祐太
地域産業論 II	1	亀澤 隆夫
地域政策プランニング	1	亀田 良賢
地域ビジネス入門	1	宮崎 友花
中国語 II	4	磯部 直樹
中国語 II	1	船井 玲伽
中国ビジネスコミュニケーション II	4	カ チュウエン
データサイエンス II	1	野口 寛司
データベース II	3	谷萩 優一
データベース II	1	山口 知徳
TOEIC II	1	カ チュウエン
TOEIC II	1	シュウ ブン
TOEIC II	1	チョウ ビン
特別講座 II	1	林田 拓馬
日経 BP 総研 中小企業経営研究所 冠講座	1	早川 礼奈
日経 BP 総研 中小企業経営研究所 冠講座	1	八束 あき
日本語講座中級 II	4	キン セイチュウ
認知心理	1	貝守 光希
ビジネスコミュニケーション II	1	馬場 明仁
ビジネスコミュニケーション IV	4	牧野 りな
ビジネススキル入門	1	清水 大那
ビジネススキル入門	1	味蓼 恵月
ビジネススキル入門	1	深山 右京
ビジネススキル入門	1	吉岡 将希
ビジネス数学 II	1	根岸 直樹
ビジネス戦略 II	1	谷萩 優一
ビッグデータ活用法	4	山下 圭以太
Practical English Conversation II	1	カ チュウエン
Practical English Conversation II	1	シュウ ブン
Practical English Conversation II	1	チョウ ビン
Practical English Conversation II	1	バク ガセイ
Practical English Conversation II	1	モウ シライ
ブランドマネジメント	1	中務 広隆

科目名	◎	学生氏名
プレゼミ II X01	2	廣瀬 くるみ
プレゼミ II X02	2	須谷 亮太
プレゼミ II X03	2	上岡 萌絵
プレゼミ II X04	2	津布久 裕貴
プレゼミ II X05	2	木下 尚晶
プレゼミ II X06	2	谷萩 優一
プレゼミ II X07	2	八束 あき
プレゼミ II X08	2	岡部 里那
プレゼミ II X08	2	廣野 樹梨
プレゼミ II X09	2	佐藤 瑠奈
プレゼミ II X10	2	古川 今日子
プレゼミ II X11	2	早坂 一哉
プレゼミ II X11	2	松本 瑠正
プレゼミ II X12	2	福田 恭丈
プレゼミ II X13	2	荒井 直樹
プレゼミ II X14	2	徳光 李樹
プレゼミ II Y01	2	鈴木 理紀
プレゼミ II Y02	2	渡邊 健史
プレゼミ II Y03	2	栗本 寛太
プレゼミ II Y04	2	和泉 遼
プレゼミ II Y05	2	座間 樹乃
プレゼミ II Y06	2	相澤 大虎
プレゼミ II Y07	2	遠藤 光一
プレゼミ II Y08	2	堀川 浩暉
プレゼミ II Y09	2	相田 雅貴
プレゼミ II Y10	2	上原 拓真
プレゼミ II Y11	2	杉村 優香
プレゼミ II Y12	2	川村 千夏
プレゼミ II Y13	2	帷子 佑紀
プレゼミ II Y14	2	工藤 春哉
プログラミング入門 III	1	中山 貴文
文章伝達入門	1	飯沼 敏樹
文章伝達入門	1	白井 ほのか
文章伝達入門	1	中野 愛由
文章伝達入門	1	和田 彩佳
Basic Office English II	1	栗山 佑
Basic Office English II	1	八束 あき
ベンチャー企業論	1	相澤 大虎
法学 (憲法)	4	小林 拓視
マーケティング・データ分析	1	関 謙二郎
マーケティングマネジメント論	1	イ ジョン
マクロ経済学	1	押見 正明
マクロ経済学	1	佐藤 哲大
余暇マネジメント	1	白井 ほのか
立志人物伝	1	萱間 慶美

※科目名 50 音順

## 【2018 年度 最優秀学生賞】 大学在学中 4 年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた者及び本学学生として模範的行為のあった者

荒井 綺花 伊槻 裕紀 副島 幸奈 玉木 真悟 増田 悠斗 茂木 佑馬

※氏名 50 音順

## 【2018 年度 学長賞・学部長賞】 本学学生として模範的行為のあった者または団体

学長賞 村山 貞幸 ゼミ

学部長賞 井上 祐輝

## 【2018 年度 社会・研究活動賞】

- ① コンテスト等において優秀な成果をおさめた者または団体      ② 課外活動で全国大会に出場する等顕著な成績をおさめた者または団体  
 ③ 在籍期間を通じて学生会等の活動に特に貢献のあった者      ④ 優れた研究成果又は論文を発表した者または団体      ◎印は、選出理由

学生氏名・団体名	◎	内 容
窪田 楓	④	TOEIC のスコア 475 点 (2017.12) をオーストラリア留学 (2018.4-9) 後、720 点 (2019.1) に向上
小出 幹	④	第 10 期社会工学研究会アジアダイナミズム班にて、口頭発表や論文作成を行う中で多大な成果
玉木 真悟	③	2018 年度・2017 年度の 2 年間にわたり、学生会執行部長、多摩祭実行委員長を務め多摩大に貢献
横溝 佑哉	④	地域の有志と連携して「みんなの食卓プロジェクト」を 2 年間担当、行動力が地域から評価された
出原至道ゼミ	①	国際大会 Laval Virtual に応募し、審査を通過して展示の権利を獲得
中村その子ゼミ	②	多摩祭でのラジオ放送や情報発信、地域連携活動等を通して学内を活性化、多摩大学の知名度を高めた
村山貞幸ゼミ	②	商店街・小中型・大型など数多くのイベント実績、多様な報道実績
インターゼミ<サービスエンターテインメント班>	④	研究論文「日本の消費の現状と今後の展望～多摩地域の過去・現在・未来～」の完成と優れた研究成果
近隣交流プロジェクト	④	幼児・児童を対象とした様々な地域イベントを運営し、行動力が高く評価された
世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト	①	大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」プロジェクトを継続的に実施し高い評価
自然・科学・技術サークル	①	学外コンテスト ET Robocon に参加し継続的な開発・改良。東京予選大会で 100 位以内の成績
井上 祐輝 (多摩大学体育会スケート部所属)	②	第 74 回国民体育大会冬季大会スケート競技会 (釧路市) で東京都チームとして青年男子 5,000m リレーに出場し全国 2 位
高橋 裕大 (ASV ベスカドーラ町田アスビランチ所属)	②	U-19 フットサル日本代表として「AFC U-20 フットサル選手権 2019 予選」出場、予選突破等の貢献
本石 猛裕 (多摩大学体育会フットサル部所属)	②	U-19 フットサル日本代表として「AFC U-20 フットサル選手権 2019 予選」出場、予選突破等の貢献
松村 佑太 (多摩大学体育会フットサル部所属)	②	チームをまとめ全日本大学フットサル大会に 3 年連続出場へ導くなど多大な貢献
米田 圭孝 (多摩大学体育会フットサル部所属)	②	チームをまとめ全日本大学フットサル大会に 3 年連続出場へ導くなど多大な貢献

# 多摩大学 体育会報告

## 1. 体育会フットサル部

部長：福田 恭丈（経営情報学部 事業構想学科 4年）

部員：28名（1年：8名、2年：7名、3年：6名、4年：7名）

<活動報告>

### ○KOBECUP 2019 大学フットサルリーグ優勝

2019年3月19日・20日に、神戸ワールド記念ホールにて開催された「KOBECUP 2019 大学フットサルリーグ」で、多摩大学フットサル部が優勝しました。2018年度最後の公式戦を優勝という最高の形で締めくくることができました。

2019年度は、今年度達成することができなかった悲願の大学日本一を目指して、より一層全力で頑張っていきます。

引き続きご支援ご声援のほど、よろしくお願い致します。

### ○第15回全日本大学フットサル大会東京都大会優勝

2019年6月2日に行われた決勝戦で、昨年度優勝の慶應義塾体育会サッカー部に5-4で見事勝利し、令和最初の東京チャンピオンとなりました。優勝チームは関東大会への出場権を獲得し、関東大会で優勝すると全国大会に出場できます。



体育会フットサル部

## 2. 体育会女子フットサル部

部長：小泉 歩美（経営情報学部 事業構想学科 3年）

部員：7名（1年：1名、2年：2名、3年：4名）

<活動報告>

### ○部員募集中

毎週火曜日朝に練習をしています！

## 3. 体育会スケート部

部長：井上 祐輝（経営情報学部 事業構想学科 4年）

部員：1名（4年：1名）

<活動報告>

### ○第74回国民体育大会冬季大会スケート競技会で井上祐輝さんが全国2位

2019年2月2日・3日に釧路市春採アイスアリーナ（北海道釧路市）にて開催された「第74回国民体育大会冬季大会スケート競技会」で、

多摩大学体育会スケート部スピード部門の井上祐輝さん（経営情報学部3年）が、東京都チームとして青年男子5,000mリレーに出場し、見事な滑りを見せ、全国2位となりました。



釧路市春採アイスアリーナにて（中央が井上さん）

## 4. 体育会スキー部

部長：富高 日向子（経営情報学部 学科未分属 1年）

部員：1名（1年：1名）

### ○ジュニア世界選手権フリースタイルで富高日向子さんが準優勝

2019年4月6日、イタリアのバルマレンコにて行われたフリースタイルスキーの「世界ジュニア選手権」で、富高日向子さん（経営情報学部1年）が、モーグル・デュアルモーグルの2戦で準優勝しました。



世界ジュニア選手権の様子

<その他学生活動トピックス>

2019年4月28日、チャイニーズ・タイペイで開催された国際親善大会「2019 CTFA U20 Futsal Invitation」にて、U-20 フットサル日本代表はU-20 フットサルチャイニーズタイペイ代表との第3戦に5-1で勝利し、優勝しました。日本代表チームのスターティングメンバーとして、本石猛裕さん（経営情報学部2年・ベスカドーラ町田アスピランチ所属）と高橋裕大さん（経営情報学部2年・ベスカドーラ町田アスピランチ所属）が出場し、本石選手は先制点を含む2得点を決める活躍でチームに貢献しました。

U-20 フットサル日本代表は、6月14日から始まる「AFC U-20 フットサル選手権イラン 2019」（アジア大会）に臨み、アジアチャンピオンを目指します。

## 「先生や友人のネットワークを構築して4年間を充実したものに」

2019年4月5日、調布市グリーンホールにて、「2019年度多摩大学入学式」を挙行了しました。今年度の新入生は、経営情報学部388名、グローバルスタディーズ学部173名、計561名です。

寺島実郎学長は、「大人の要件は経済的自立である。そのための力をつけ、さらに自分を客観視し自身の役割を理解していくことが大学4年間の課題となる。大学生活を通して、自分は何者であり、どのように生きていくべきかを考えてもらいたい。21世紀に生まれた世代を待ち受けているアジアダイナミズムに日本人としてどう向き合うのか。また、100歳人生といわれる時代をどう生きていけばよいのか。自分の頭で考え抜く力を身につけていかなければならない。多摩川と相模川にはさまれた範囲を多摩と考え歴史を捉えると、江戸時代は幕府の直轄地であり新撰組の発祥地、自由民権運動が興隆した、この多摩のDNAを掘り下げていくと世界につながる。戦後はサラリーマンのベッドタウンが形成され、現在は都市郊外型の高齢化社会問題を抱えている。多摩大学は地域密着型の大学として、このような地域の課題にも取り組んでいる。多摩大学のよさは手づくり感であり、教職員は学生と真剣に向き合っている。学生時代に先生や友人のネットワークを構築し、4年間をぜひ充実したものにしてもらいたい」と新入生を祝福しました。

学校法人田村学園 田村嘉浩理事長は、大学生活を悔いなく充実させるためのアドバイスとして、「一つ目は、問題意識を持って自分の頭で考え抜く力をつけること。二つ目は、今日できることは明日に延ばさないこと。三つ目は、国際的視野を養うこと。過去は変えられないが未来は変えられる。皆さんの大学生活が夢や希望で輝けるものとなるように」とエールを送りました。続いて来賓として出席された阿部裕行多摩市長は、「この4年間で青春時代を燃焼してほしい。地域のイベントにも力を貸してもらいたい」、八木敏郎 多摩信用金庫理事長は、「地域の課題に目を向け、地域に根ざした知識を身につけてほしい」と祝辞を述べました。また、経営情報学部の安藤弘伴さんとグローバルスタディーズ学部の山田華さんは新入生代表として、これからの大学生活への抱負と期待を語りました。

式典終了後は各学部で会場を別にして保護者の方々を対象に、教職員から多摩大学の教育方針・専任教員・学生サポート・留学プログラム・就職支援体制・後援会などについて説明と紹介を行いました。



来賓の方にもご登壇いただいた入学式



緊張した表情の新入生たち



祝辞を述べる寺島実郎学長



経営情報学部 保護者向け説明会



経営情報学部、グローバルスタディーズ学部の新入生代表



グローバルスタディーズ学部 保護者向け説明会

## 教員紹介 〈グローバルスタディーズ学部〉

### 教師としての心構えを学び、実践する

教員を目指す学生には「何を教えたいのかを明確にすること」と言っています。それは、単に英語といった専門教科のことではなく、その教科を通して生徒たちに何を伝えたいのか、という意味です。教育に対する心構えというものを教育実習に行くまでに持つことが大切です。また、社会が大きく変化し、求められる人材も変わる中で、学校現場での授業の有り様も変わることが求められています。

大学での授業を通して、教育とは何か、教師は何をすべきか、どのような対応が望ましいのか等、学生のみならずと共々学んで行きたいと思えます。

### 観光現象を通して、地域社会を理解する

周知のように、近年国による強力な推進のもと、インバウンド観光に対する地域の期待が高まる一方である。地域の資源を観光資源として活用し地域経済の活性化を図りながら、地域課題の解決につなげようとする活動、すなわち観光地域づくりに取り組む地域が多く見られるようになった。こうした中で、地域にとっての観光の意義について、経済の視点だけでなく、住民生活を含む多面的な視点から再考察する必要があると思われる。

授業では経済や文化、生活などの諸側面から観光現象を把握し、持続可能な観光を実現させる際の課題を探っていく。

### 廣田 敬則

(ヒロタ タカノリ)  
グローバルスタディーズ学部 教授  
〈プロフィール〉  
都留文科大学卒業。和歌山県田辺市教育委員会 学校教育課課長、田辺市立小学校校長、全国連合小学校長会理事を歴任し、教育実習生の指導、若手教師の養成・研修に従事。2019年4月より現職。専門は教職課程・教職概論。



### 李 崗

(リ ガン)  
グローバルスタディーズ学部 専任講師  
〈プロフィール〉  
中国・南京大學を卒業後、2007年に来日。立教大学大学院観光学 研究科にて修士号（観光学）、博士号（観光学）を取得。2019年4月より現職。専門は観光学。主な研究テーマは中国観光、観光と文化、日本版DMO。



## パンの師匠と大学教授

子どもが卵アレルギーだったのでパンを作るようになった。パン教室を渡り歩き、やっと出会った師匠のもとで腕を磨いている。家族や友達に「このクロワッサン売り物のよう」「このクリームパンうますぎ」と褒められるが、師匠には未だに麵棒の使い方など「基礎的なこと」で注意される。そのたびに落ち込む。大学では、地域金融論などを担当。「地域」も「金融」も若いうちにはなかなか興味がわかない代物。ライフシミュレーションやカードゲーム等で意欲を掻き立てる、基礎的なことがいつの間にか身につくように工夫している。社会に出たとき、きっと役に立つはず。パンの師匠もきっとそんな想いに違いない。

## 組織と個人、両方の視点から経営をとらえる

私は、経営学のなかでも、組織行動論と人的資源管理論という分野を専門にしています。組織行動論は、会社のなかにいる「個人」の行動について、心理学・社会学などの知見を応用して考える学問です。一方で人的資源管理論は、会社のなかにいる人々のマネジメントをする「組織」サイドの視点から研究する学問です。よって、「組織」側と「個人」側、両方の視点で組織運営を考えることを大切にします。

学生の皆さんにも、どちらか一方の視点、一方の勢力に偏らない複眼的な思考で、経営を捉えられるように成長してもらいたいと考えます。

## 新たな時代を生き抜くための人文学知

現代の情報化社会における企業経営の何たるかを学ぶ本学において、哲学、歴史、文学など、いわゆる「人文学」の知識を身に付けることは、決して無駄なことではありません。学生生活をはじめ、日々生活するなかでは、判断や行動が求められる場面が多々あるかと思いますが、人文学もまた自らの試行錯誤や様々な思索を支える前提としての〈引き出し〉となってくれるからです。

学んだ知識に無駄なものはありません。人が健やかに生きていくには何が必要なのか、本学でも学んでいければ幸いです。

## 知識は力

私の専門は国際関係、特に政治学、歴史学です。グローバル化する世界と共にある今日の日本社会では、従来とは違った価値観、見方が必要になる場面が沢山あります。そんな時、より多様なモノの見方を知っていれば、困難な出来事に会ってもそれを自分の力で分析し解決することができます。国際関係とは、国と国との際（出会うところ）という意味だけでなく、ヒトとヒト、モノとモノ、考え方と考え方「出会い」に遭遇することができる大変興味深い分野なのです。

知識は力です。その力にはどんなものがあるのか、学生の皆さんと共有することを楽しみにしています。

## 人生 100 年時代におけるスポーツのポテンシャル

人生 100 年時代を迎えた我が国において、国民が高いレベルの QOL（生活の質）を維持していくために、スポーツ（特にテニス）を定期的に楽しむことは重要です。休日に地域を散歩していると、多くの方が楽しんで行なえる『生涯スポーツ』が住民に親しまれており、その重要な存在価値に気がつきます。スポーツウェルネスがもたらす身体への恩恵は多大なものです。

学生諸君！！スポーツの専門大学ではない多摩大学だからこそ『生涯スポーツ』を楽しみ、人生 100 年時代におけるジェロントロジーとの深い結びつきを学びましょう。

## 「表現したいこと」と「表現できること」との狭間で

会計とは「会社の活動を一定の仕組み（複式簿記）に従って表現する行動」などと言うことができるかもしれませんが。会計学者のうち一定数は、「では、どうしたら上手いこと会社の活動を表現できるのか」という間に答えようと日夜研究しています。私は、という少し違って、さっきの「一定の仕組み」に注目して研究をしています。この一定の仕組みというものには多少癖があるんですね。そしてその癖が原因で、どんなに工夫しても「表現したいことを上手く表現し切れない」という事態が生じてくる（のではないかと少なくとも私は思っています）。この「表現し切れなさ」を白日の下にさらすこと、これが私の目下の課題であり興味の対象です。さて授業では、現在行われている表現方法（会計処理）と、表現されたもの（財務諸表）をどう読み解くか、を中心にお教えします。人によっては結構ハマるはず。ぜひ一度、会計の世界を覗いてみてください。

### 長島 剛

(ナガシマ ヲヨシ)

経営情報学部 教授

〈プロフィール〉

法政大学大学院社会学

科学研究科卒業。多

摩中央信用金庫入庫。

2011 年価値創造事業部部長、2017 年地域

連携支援部長、2018 年融資部部長。多摩地

域の市町村や大学・高専等との地域連携に長

く従事。2019 年より多摩信用金庫から出向、

現職。



### 西村 知晃

(ニシムラ トモアキ)

経営情報学部 准教授

〈プロフィール〉

一橋大学商学部卒。三

菱マテリアル㈱人事部

門に約 10 年在籍。製

作所総務・人事、本社採用・教育、給与・賞与・

退職金制度などを担当。社会保険労務士資格

取得（2002 年）。神戸大学大学院経営学研究

科博士課程単位取得修了。星城大学経営学部・

専任講師を経て現在に至る。



### 高橋 恭寛

(タカハシヤスヒロ)

経営情報学部 准教授

〈プロフィール〉

東北大学大学院文学研究

科にて博士（文学）を取

得。専門は日本思想史。

東北大学大学院文学研究科専門研究員、宮城県

岩沼市教育委員会市史編纂室編集専門員、東日

本国際大学東洋思想研究所准教授を経て、現職。



### 小林 昭菜

(コバヤシアキナ)

経営情報学部 専任講師

〈プロフィール〉

法政大学大学院政治学

研究科政治学博士取得。

ロシア科学アカデミー

東洋学研究所及びピッツバーグ大学世界史セ

ンター派遣研究員、外務省専門分析員、日本

学術振興会特別研究員、法政大学法学部兼任

講師を経て、2019 年より現職。



### 佐藤 文平

(サトウブンペイ)

経営情報学部 専任講師

〈プロフィール〉

早稲田大学スポーツ科

学部卒。早稲田大学大

学院スポーツ科学研究

科修士課程修了。日本体育大学博士後課程

満期単位取得退学（スポーツバイオメカニク

ス）。プロテニスプレイヤー、テニス中継解説

者として活動し、2019 年 4 月より現職。



### 木村 太一

(キムラタイチ)

経営情報学部 専任講師

〈プロフィール〉

2014 年慶應義塾大学

商学部を卒業し、2016

年同大学大学院商学研

究科修士課程を修了。2019 年 3 月に同研究

科を単位取得満期退学し、2019 年 4 月より

現職。専門は財務会計。家では生き物係を担当。

目下、シクラメン 2 鉢とミニ胡蝶蘭の育成に

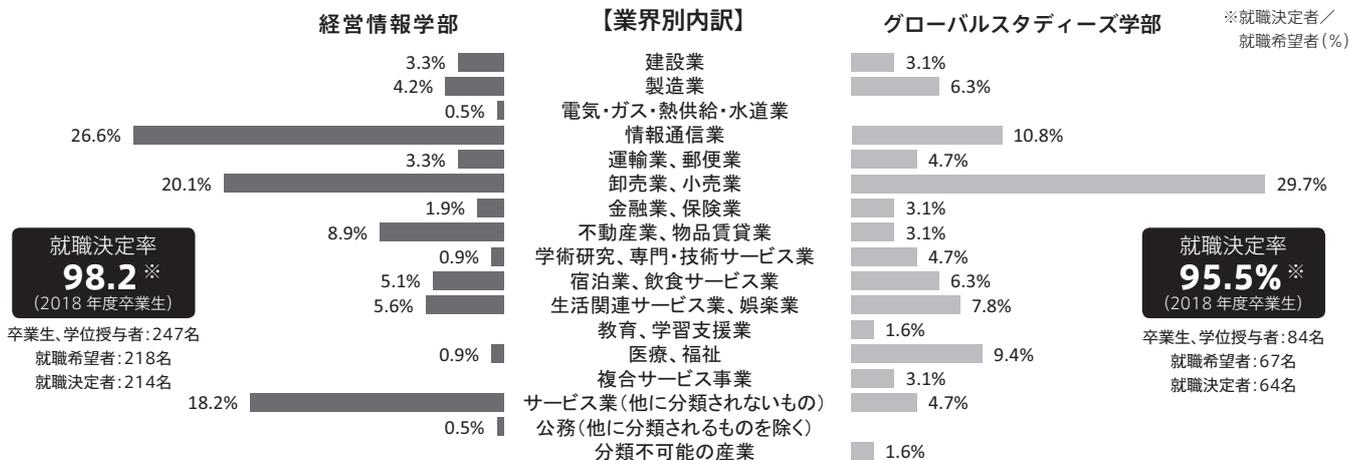
精を出している。



多摩大学キャリア支援課では、学生一人一人にきめ細かなサポートを行っています。経営情報学部ではゼミ担当教員とキャリア支援課職員が常に情報を共有しながら、各学生の個性に合った指導をしています。定期的に就職に関する父母懇談会を開催し、ご家族にも就職活動へのご理解をいただくことで、就職活動に取り組みやすい環境を整えています。また、グローバルスタディーズ学部では、国内外で豊富なビジネス経験を持つ教職員が、グローバルに活躍できる人材育成を目標に少人数の対話形式の授業+キャリア支援講座+インターンシップなどのキャリア支援を実践し、全学年を通して学生の希望・適性・個性・能力等にあったアドバイスを行っています。

## 2018年度就職状況

※2019年5月1日現在



### 【主な就職先】 (50音順)

〈経営情報学部〉 (株)IDOM、旭情報サービス(株)、穴吹興産(株)、(株)ウィルグループ、(株)イービーシー・マート、(株)FJネクスト、(株)コーサー、コーナン商事(株)、国際自動車(株)、(株)コジマ、ゴトウコンクリート(株)、(株)三技協、ジャパンシステム(株)、(株)セラク、第一カッター興業(株)、ダイドールグループホールディングス(株)、(株)タカキュー、多摩信用金庫、チームラボエンジニアリング(株)、(株)トラス・テック、(株)トレジャーファクトリー、(株)ニチイ学館、日本システム技術(株)、日本郵政(株)、(株)ノジマ、(株)ハイデイ日高、(株)FANCL、(株)フルキャスト、(株)ベストプライダル、(株)ベストランス、(株)ペッパーフードサービス、(株)物語コーポレーション、(同)ユー・エス・ジェイ、(株)ライドオンエクスプレスホールディングス、(株)ランドコンピュータ

〈グローバルスタディーズ学部〉 (株)アイケイ、アイ・ティー・エックス(株)、アンドール(株)、いちよし証券、インターネットウェア(株)、(株)エイチ・アイ・エス、小田急電鉄(株)、公益社団法人藤沢市観光協会、(株)廣済堂、国際医療福祉大学病院・高邦会グループ、(株)コシダカ、さがみ農業協同組合、(株)ザラ・ジャパン、(株)サンケイビルウェルケア、JKホールディングス(株)、神明電機(株)、(株)スカイツアーズ、(株)すかいらーく、住友生命保険相互会社、(株)ソフ、(株)ティーケービー、(株)帝国ホテル、「天心」(株)、(株)屋神温泉ランドホテル、(株)徳力本店、(株)トランスコスモス、(株)トラント、日発運輸(株)、(株)ニトリ、(株)ビー・フワード、(株)ビッグカメラ、(株)プライダルプロデュース、ヤマオサ(株)、横浜農業協同組合、(株)ロピア、ワールドエンタープライズ(株)

2018年度卒業生就職先はこちらをご覧ください。

○経営情報学部 <https://www.tama.ac.jp/career/smis/jisseki.html> ○グローバルスタディーズ学部 <https://www.tama.ac.jp/career/sgs/005.html>

## グローバルスタディーズ学部 第11回後援会定期総会

2019年6月15日、湘南キャンパスにて、「グローバルスタディーズ学部 第11回後援会定期総会」を開催しました。総会後には、安田震一 副学長兼グローバルスタディーズ学部長によるSGSの現況報告、教職員による各種説明会、懇親会がありました。

### ○後援会定期総会

第1号議案(後援会会則の改正)、第2号議案(2018年度事業報告・決算報告・監査報告)、第3号議案(2019年度後援会役員を選出)、第4号議案(2019年度事業計画・予算)について審議し、承認されました。

### ○第1部 SGSの現況

(安田震一 副学長兼グローバルスタディーズ学部長)

グローバルスタディーズ学部(SGS)はローカルをグローバルに発信する地元に根付いた学部。SGSのミッションは「グローバル人材の育成」で、①少人数制 ②英語教育 ③留学プログラム ④面倒見が良い(インターンシップ・キャリア講座)の4要素であると説明。2年次からの専門教育科目は将来の志望に沿っ

て、ホスピタリティマネジメントコースと国際教養コースの2つの専攻コースから選択。また3年~4年次生を対象にゼミ制度、アジアダイナミズムを考慮し第二外国語に中国語と韓国語を導入。就職状況、短期・長期の留学制度についても解説し、海外(シンガポール、中国雲南省昆明など)や沖縄名桜大学における研修報告をしました。さらに学外活動として、多摩大学が藤沢市と取り組むプロジェクト「I Love 湘南 Project」への参加を呼びかけました。

### ○第2部 各種説明会

「学生生活の過ごし方」「履修・成績(各学年)」「留学」「キャリア支援」のテーマ別に教室を分けて、保証人の皆様からのご質問やご相談に教職員が個別に対応。情報交換の場としても有意義な時間となりました。

### ○第3部 懇親会

各種説明会の終了後、カフェテリアにて保証人の皆様と教職員が和やかに歓談し、交流を深めました。



定期総会にて役員に選出された皆様



安田震一 副学長兼学部長による説明



履修・成績について全体説明



各種説明会での面談の様子



懇親会の様子

# 平成 30 年度 学校法人田村学園概要

多摩大学の経営母体である学校法人田村学園は、私立学校として積極的に情報開示をしております。最新の田村学園概要は、以下のとおりです。

(学校法人 田村学園 貸借対照表)

## 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日 (平成 29 年度)

(単位：百万円)

資産の部	前年度末	本年度末	増 減
科目			
固定資産	23,090	24,419	1,329
有形固定資産	19,755	20,891	1,136
土地	11,746	13,015	1,269
建物	6,880	6,892	12
その他	1,129	984	△ 145
特定資産	1,992	2,092	100
第 2 号基本金引当特定資産	1,900	2,000	100
第 3 号基本金引当特定資産	92	92	0
その他の固定資産	1,343	1,436	93
電話加入権	5	5	0
その他	1,338	1,431	93
流動資産	5,022	4,186	△ 836
現金預金	4,546	3,722	△ 824
その他	476	464	△ 12
資産の部合計	28,112	28,605	493
負債の部			
科目			
固定負債	404	428	24
長期借入金	1	1	0
退職給与引当金	403	427	24
流動負債	1,207	1,258	51
短期借入金	2	1	△ 1
前受金	882	850	△ 32
その他	323	407	84
負債の部合計	1,611	1,686	75
純資産の部			
科目			
基本金	32,119	33,644	1,525
第 1 号 基本金	29,775	31,200	1,425
第 2 号 基本金	1,900	2,000	100
第 3 号 基本金	92	92	0
第 4 号 基本金	352	352	0
繰越収支差額	△ 5,618	△ 6,725	△ 1,107
翌年度繰越収支差額	△ 5,618	△ 6,725	△ 1,107
純資産の部合計	26,501	26,919	418
負債及び純資産の部合計	28,112	28,605	493

(平成 30 年度 学校法人 田村学園 計算書類 抜粋)

(資金収支)

(資金収入) (単位：百万円)

学生生徒等納付金収入	3,823
手数料収入	86
寄付金収入	66
補助金収入	1,277
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	155
受取利息・配当金収入	45
雑収入	125
その他	△ 29
前年度繰越支払資金	4,546
合計	10,044

(資金支出)

人件費支出	3,059
教育研究経費支出	1,128
管理経費支出	448
借入金等利息支出	0
その他	1,687
翌年度繰越支払資金	3,722
合計	10,044

(事業活動収支)

(単位：百万円)

学生生徒等納付金	3,823
手数料	86
寄付金	66
経常費等補助金	1,206
付随事業収入	155
雑収入	125
<b>教育活動収入合計</b>	<b>5,461</b>
人件費	3,082
教育研究経費	1,509
管理経費	478
その他	32
<b>教育活動支出合計</b>	<b>5,101</b>
教育活動収支差額	360
教育活動外収入	44
教育活動外支出	0
教育活動外収支差額	44
<b>経常収支差額</b>	<b>404</b>
特別収入	21
特別支出	8
特別収支差額	13
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>417</b>
基本金組入額	△ 1,524
当年度収支差額	△ 1,107
前年度繰越収支差額	△ 5,618
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 6,725
(参考)	
<b>事業活動収入 合計</b>	<b>5,526</b>
<b>事業活動支出 合計</b>	<b>5,109</b>

(平成 31 年度)

・学生・生徒等 (人)	田村学園全体	4,955
	多摩大学	
	学部	
	経営情報学部	1,520
	グローバルスタディーズ学部	685
	多摩大学 大学院	135
	高校 (2)・中学 (2)・幼稚園 (3)	2,615
・キャンパス面積 (㎡)	田村学園全体	115,932
	多摩大学	44,913
	その他	77,019

以上、令和元年 5 月 1 日 現在

## 多摩大学「ジェロントロジー企画」

### 第 7 弾 「山梨県南アルプス市で田植え体験×講座」を実施

「多摩大学 寺島実郎監修リレー講座」の受講者を対象に、農業体験を通してリタイア後の世代が新たな社会参画を考える企画として、2019 年 5 月 19 日、10 年後にリニア中央新幹線が結ぶ山梨県南アルプス市との連携で「田植え体験×講座」を実施しました。

当日は天候にも恵まれ、南アルプス市の富士山と甲府盆地を一望できる棚田にて、25 名の参加者が「田植え」体験に取り組みました。泥に足を取られ、かがんだ姿勢を維持し後退しながら稲を 1 列に植える作業は思ったよりも難しく、農作業の大変さと楽しさを体験することができました。一般参加者、教職員及び学生の皆さんでなんとか苗を植えることができました。

田植えの後は、南アルプス市の食材を使った「ふるさと弁当」をみんなで美味しくいただき、その後「やまなみの湯」に移動し、入浴や地元物産品の買物を楽しみました。また、同敷地内にて、南アルプス市教育委員会文化財課のご協力により、「地域の歴史から振り返る時代『昭和』」と題した講座を受講しました。昔から暮らしている地域住民のお二人から南アルプス市の歴史や生活について貴重なお話をいただき、地域コミュニティの重要性和その地域には忘れられているようなたくさんの価値ある歴史資源が潜んでいることに気付かされました。ジェロントロジー企画は、第一次産業に触れることにより、生産活動へ携わる貴重な経験をすることができます。9 月には稲刈りを実施する予定です。



金丸一元 南アルプス市長もご挨拶に訪問



講座【地域の歴史から振り返る時代「昭和」】



田植え作業



参加者で集合写真

# 2019 多摩大スポーツフェスティバル 開催

2019年4月26日、多摩キャンパスにて「2019多摩大スポーツフェスティバル」を開催しました。このスポーツフェスティバルは新入生の仲間づくりや信頼関係の構築、上級生・教職員との交流を目的とし、今回は2回目の取り組みとなります。当日は朝から雨天であったため、会場を屋内のみとする競技スケジュールに変更。アリーナでは「大縄跳び」「ドッチボール」、教室やT-Studioでは「クイズ」「カードゲーム (UNO)」「ダーツ」「パターゴルフ」を実施しました。競技にはプレゼミ29クラスとホームゼミ(有志)2チーム、留学生連合の計32チームが参加、教員も競技に加わり、チーム対抗で得点を重ね順位を競い合いました。参加したプレゼミ生は「いろいろな人と話すことができてよかった」「競技をしながら、チームの仲間と親しくなることができた」。また、SA(スチューデントアシスタント)としてリーダーシップを発揮していた2年生は「1年生と一緒にゲームを楽しんでいる」。プレゼミ担当教員からは「皆一生懸命ゲームに取り組み、チーム力もアップした」「1年生同士の交流がより深まった。ルールが単純なので、ゲームに入り込みやすいようだ」などのことばがありました。閉会式では総合順位が発表され、上位チームには杉田文章 副学長・経営情報学部長より表彰状と景品が授与されました。



参加者全員で体操



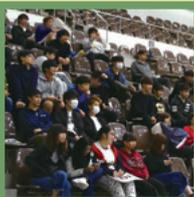
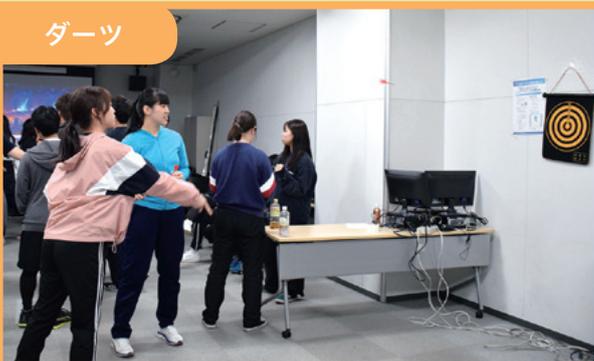
ドッチボール



大縄跳び



ダーツ



パターゴルフ



○×クイズ



表彰式



ゲーム (UNO)

